

# 腸炎ビブリオの選択分離培地 X-VP寒天培地「ニッスイ」

食品衛生検査指針 微生物編2004収載

腸炎ビブリオは、日本において発生件数が常に上位の代表的な食中毒菌です。  
X-VP寒天培地は、発色酵素基質を用いているため、TCBS寒天培地で見分けにくかった菌も確実に選択分離できます。

## 特徴

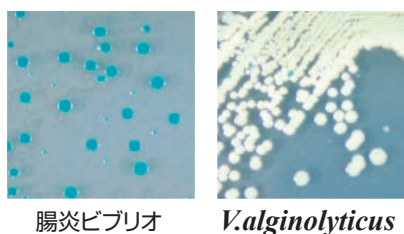
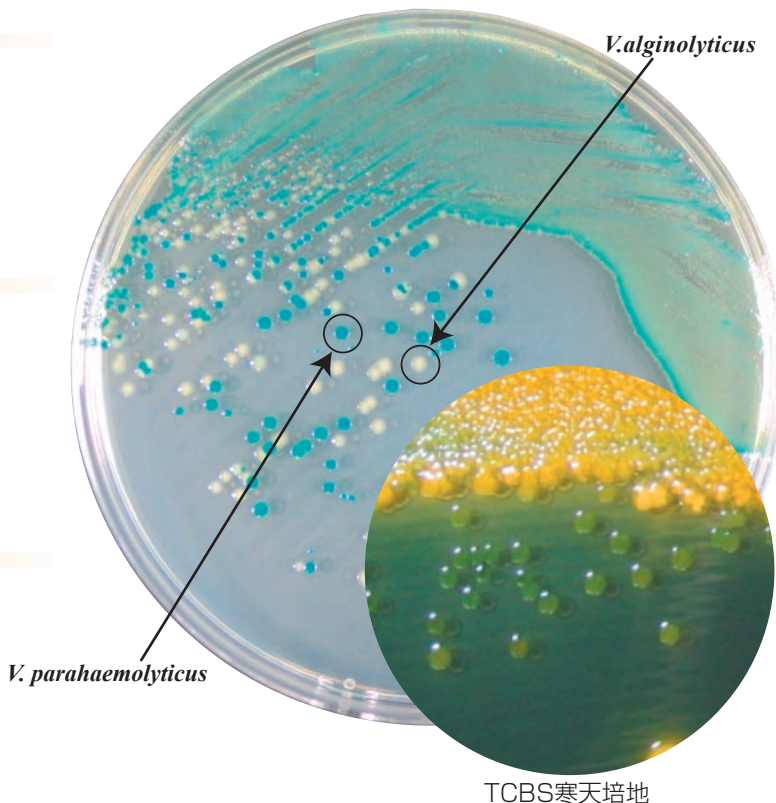
- 酵素基質による集落の発色を原理としているため鑑別は明瞭です。  
(TCBS寒天のように近接集落の影響を受けません)
- *V.vulnificus*は淡桃色～赤紫色の集落として鑑別できます。

## 培地の使用法

- 本品102.4gを精製水1,000mLに加温溶解し、約20mLずつシャーレに分注して平板とします。  
注:高圧蒸気滅菌をしてはならない。
- 培地表面を十分に乾燥させてから使用します。  
被検材料をそのまま、または増菌培養後塗布し、35～37℃で18～24時間培養します。

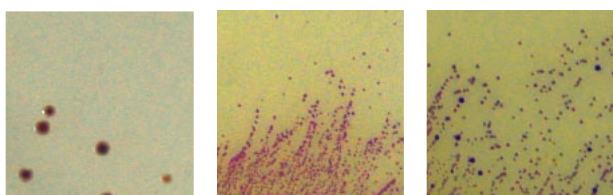
## 鑑別法

- 腸炎ビブリオ(*Vibrio parahaemolyticus*)は青～青緑色の集落を形成します。
- *V.vulnificus*、*V.cholerae*、*V.mimicus*は淡桃色～赤紫色の集落を形成します。また、*V.alginolyticus*は発色せずに乳白色の集落を形成します。
- 大腸菌群やビブリオ属以外の菌は発育が抑制されます。



腸炎ビブリオ

*V.alginolyticus*



*V.vulnificus*

*V.cholerae*

*V.mimicus*

## 組成

102.4g(培地1L)中	
ペプトン	10.0g
酵母エキス	5.0g
白糖	30.0g
チオ硫酸ナトリウム	6.4g
クエン酸ナトリウム	10.0g
塩化ナトリウム	20.0g
ピルビン酸ナトリウム	5.0g
胆汁酸塩	3.0g
選択剤	0.27g
発色酵素基質	0.25g
カンテン	12.5g
pH 8.8±0.2	

用途	品名	製品コード	包装	希望納入価(円)	状態	貯法・使用期限
腸炎ビブリオの 選択分離培地	X-VP寒天培地「ニッスイ」	05135	300g	12,000	粉末	室温保存(要防湿) 3年間

製造発売元



日水製薬株式会社

〒110-8736 東京都台東区上野3-23-9  
URL: http://www.nissui-pharm.co.jp

お問い合わせ先: カスタマーサポート  
Tel.03(5846)5707